そそ

SOSO

南阿蘇ケアサービス通信

Minamiaso Care Service
Magazine

2020.7
no.3

Minamiaso Care Service

南阿蘇ケアサービスの運営方針

南阿蘇ケアサービスは、「共生」をキーワードに、南阿蘇村、ひいては阿蘇の地域福祉力の向上を目指します。職員・利用者一人一人が地域づくりの一端を担う存在であることを意識し、今を一緒に生き、共に地域を創ることを目指します。

本誌のタイトルである「SOSO（そそ）」は漢字では楚々と書きます。「そそをする」という言葉は小さな失敗という意味がありますが、楚々には【美しく洗練されたさま】という意味もあります。私たちもご利用者も小さな失敗を繰り返しながらも、自分らしく美しい人生を一歩ずつ歩んでいこうと考えています。

お問い合わせ

株式会社　南阿蘇ケアサービス

電話：0967-67-1606　FAX：0967-67-0875
Mail：minamiasocare@gmail.com
Web：https://www.minamiasocare.com

代表挨拶

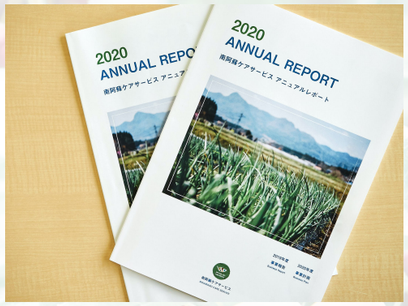
代表取締役　荒牧 律子

最近はヤギとニワトリのお世話を頑張っています。

今回の7月号で広報誌「SOSO（そそ）」は3号目の製作となりました。思い返すと、20年前の7月1日にグループホームを阿蘇郡で初めて開設しました。グループホームそのものも、認知症に対しての理解も乏しい時期でしたが、地域住民の協力で無事、運営できました。その後、定期巡回や小規模多機能など新しいサービスにも取り組んできました。さらに昨年から障がい福祉サービスを開始しました。職員の皆さまにはその度にご苦労をお掛けしました。ご利用者から見て、使い勝手の良いサービスや、地域にないサービスに取り組むことは私どもの使命だと思います。20年後はどんな会社になっているのでしょうか。

アニュアルレポートが完成しました

今回、南阿蘇ケアサービスの歴史において、初めて「アニュアルレポート」を製作しました。アニュアルレポートってなんだろう?と思われる方もいらっしゃるかと思いますが、アニュアルレポートとは企業の年次報告書にあたるもので、今までの「事業報告書」と「事業計画書」をまとめたものになります。前回まで毎年作成していた事業報告書、事業計画書は文字や表ばかりで堅苦しく、正直みなさんが「読みたい」と思っていただける内容ではなかったかもしれません。この一冊を全職員にも配布し、定期的に振り返って読んでもらうことで、今年度の会社全体や各部署での目標、そのためには何が必要なのか、目標達成に協力できることはないのか、一人一人が是非考えていただけたらと思っています。また、今後入職される方々にとっても良い情報誌となったと思います。



今回はすべてを刷新し、表紙から中身の内容まで写真を多く取り入れ、企画構成から色使い、文字のデザインやレイアウトにもこだわり、非常に読みやすい内容となりました。

豪雨災害について

令和二年七月三日から九州を集中豪雨が襲いました。特に熊本県南部に位置する球磨川、川辺川流域の人吉市や球磨村が甚大な被害を受けました。四日の未明から朝まで降り続いた雨により町は姿を変えました。熊本県内だけでも死者数は六十名を超え、球磨村にある特別養護老人ホームでも多数の犠牲者が出ました。たった数時間で何十人もの命を奪う水害、さらに南阿蘇村は山に囲まれた地域でもあるので、土砂災害の危険性もあります。南阿蘇ケアサービスでは毎年、消防署・消防設備会社の立ち合いのもと全出勤職員と全ご利用者参加の消防避難訓練を開催しています。日中想定と夜間想定で訓練を行い、訓練後は各部署間での意見交換、消防署・消防設備会社からの総評をいただいています。避難方法や環境整備、連絡方法を毎年見直しています。なお会社として被災された福祉施設に対して、物資援助とボランティアスタッフを派遣しています。

本番を想定した「避難訓練」では、実際の避難にかかった時間なども計測しています。

全ご利用者も参加していただき、情報共有しています。

南阿蘇ケアサービスのニワトリ

南阿蘇ケアサービスではヤギだけでなく、ニワトリも飼育しています。現在、3種類のニワトリが広い鶏舎を走り回りながら、元気に暮らしています。ボリスブラウン、横斑（おうはん）プリモスロック、アローカナという鶏種です。それぞれ特徴がありますが、特にアローカナという品種は珍しく、南アメリカ チリ原産のニワトリで「水色の卵」を産みます。味は濃厚で、一般的な卵と比較してレシチン（老化防止成分）が約二倍、ビタミンB（疲労回復、免疫力強化）が約十倍~二十倍、ビタミンE（血液サラサラ、心身代謝アップ）が約十倍と栄養価が非常に高いことが特徴です。また、ゆっくりご紹介させていただきたいと思っています。

自分たちで建設している鶏舎は「平飼い（ひらがい）」といって、走り回りながら自由に生活できるので、ニワトリたちのストレスが非常に少ないメリットがあります。

新商品のご紹介

つぶいりにんにくみそ

¥780-

パッケージや瓶の形などもすべて自分たちで考え、ようやく完成しました。道の駅などでも販売しております。

南阿蘇の自然の恵みをたっぷり吸収した、にんにくを使用。

メンバーさんにも手伝ってもらいながら加工しています。

就労継続支援事業所「ラボみなみ阿蘇」で新しく開発した「にんにく味噌」です。化学肥料や農薬を使わず、循環型農業で大切に育てた、にんにくを刻んでたっぷり、さらに贅沢に粒ごと入れています。ゴロゴロと粒ごと入った「にんにく味噌」はなかなかお目にかからないかもしれません。そのままご飯のおともや、晩酌のおつまみに。炒め物や、鍋、ラーメンなどの隠し味に。焼肉と一緒に食べても最高です。

就労継続支援B型事業所　LABみなみ阿蘇
プロモーション動画が完成しました

プロモーションビデオ
再生用QRコード

前回、前々回と好評をいただきましたケアサービスのプロモーションビデオ。今回は「LAB（ラボ）みなみ阿蘇バージョン」です。農作業や加工品作りなど、懸命にそして楽しそうに働かれている皆さんのご様子を是非ご覧ください。YouTubeで「南阿蘇ケアサービス」と検索されるか、専用QRコードより是非ご覧ください。